

上小山田地区資源循環型施設連絡会（第10回）

議事要録

■日時 2026年4月22日（水）14：09～15：42

■場所 町田市バイオエネルギーセンター（バイエネ君）3階 BC会議室

■出席 委員：森会長（暫定）、佐藤委員、安達委員、田中委員

■欠席 委員：藤田委員

■事務局

循環型施設整備課：古屋課長、吉川統括係長、波戸場担当係長、岡担当係長、
宮崎主任、難波主事、大島主事

環境政策課：三宅担当課長、渡邊担当係長

■傍聴者 1名

■配布資料

次第

1. 確認事項

資料1 第9回上小山田地区資源ごみ処理施設連絡会について

2. 協議・報告事項

資料2 施設計画位置の見直しについて

資料3 地区連絡会等における今後の協議事項について

○開会の挨拶

古屋環境資源部循環型施設整備課長から開会の挨拶を行った。

○事務局紹介

町田市の担当について、紹介を行った。

○委嘱式

(1) 委嘱状交付

再任及び新任委員に委嘱状を机上配布した。

(2) 会長・副会長の選出

正副会長の選出は、全委員が出席する次回連絡会にて行うことにした。

本件会務を総理する暫定会長として、互選により森委員が選任された。

○委員紹介

事務局から委員の紹介を行った。また森暫定会長から挨拶があった。

議題に入る前に事務局から資料の確認を行った。

1. 確認事項

(1) 第9回連絡会の内容確認

資料1を用い、事務局から、第9回の地区連絡会の内容について説明を行った。

(質問等なし)

2. 協議・報告事項

(1) 施設計画位置の見直しについて

資料2を用い、事務局から、資源ごみ処理施設計画位置の再検討について説明を行った。

(以下、質疑応答)

・田中委員：プラスチックごみについて、現在どのような処理がされているのか。また、資源ごみ処理施設が稼働したら、どのように処理するのか。

・**事務局**：現在、資源ごみ処理施設が建設できていないため、市としてプラスチックの中間処理は出来ていない。今後施設が出来れば、圧縮梱包まで施設で行い、その後はリサイクル事業者等に委託で引き取ってもらうことになる。

・**田中委員**：新たな位置が従来より東側になった理由は。取付道路も東側にするのか？

・**事務局**：実際に施設を建設するにあたってどのような工事が必要か検討した結果、市としては、工期が短く費用も安い C 案が一番有利だと判断した。取付道路については道路線形に合わせた形で考えている。

・**安達委員**：今後、地権者とはどのような話で進めていくのか。

・**事務局**：粘り強く丁寧に説明し、可能な限り早く事業を進めていきたいと考えている。

・**森会長**：今回の資料と 3 月議会の建設常任委員会で使用した行政報告資料では、比較表の記載内容に差があるがその理由は何か。住民説明会では今回の資料でよいが、地区連絡会では検討が必要なため議会と同程度の資料を提供頂きたい。

・**事務局**：今回の資料の比較表は、分かりやすくするため簡易な記載内容にしている。今後の地区連絡会では、議会と同程度の資料を用意する。

・**森会長**：当初計画時、D 案で決めた理由は何か。また、C 案について、盛土が多く、地盤沈下の問題や排水処理の問題が出てくるが、どう考えているか。

・**事務局**：D 案は平場が多く、ほかの案に比べ造成工事が容易にできると考え選定したが、その後道路部から線形が示され、おおよその道路地盤高が分かった。それを考慮した結果、C 案が優位となった。地盤を安定させる期間と金額についても考慮して比較したところ C 案が優位という結果が出た。また、排水については、C 案で進める事になれば、今後、詳細に検討していきたいと考えている。

・**田中委員**：道路整備の問題は色々出ているが、下水道だけは入れてもらいたい。

・**事務局**：施設建設に当たっては、下水道含めて整備しなければならないと考えている。これから整備方針などは決定していくため、下水道部にも相談しながら進めていく。

- ・**森会長**：元々D案で示されて来た位置を変えるということは、約束違反と言う地元の人もいる。地元としては、忠生579号線が危ない道路で安全対策を求めている、道路整備あつての資源ごみ処理施設の建設をイメージしている。町内会としては、その辺りについて去年の8月に市長宛てに要望書を出しており、説明会を開催する場合には、町内会として出した要望書の内容をどのように受け止めてこの施設になったのかしっかりと説明すべきと考える。地元への説明会はいつ頃を予定しているか。また道路部の出席もお願いできるか。
- ・**事務局**：町内会に対しての説明は、5月23日を予定している。説明会の回数や道路部の出席については内部で検討する。

(2) 地区連絡会等における今後の協議事項について

資料3を用い、事務局から、地区連絡会における今後の協議報告事項について説明を行った。

(以下、質疑応答)

- ・**森会長**：施設建設への地元理解について話したい。2013年に上小山田の施設建設が決まった後、上小山田町内会は町田市に対して2015年と2017年に、合わせて24項目の要望事項を提出した。特に優先すべき事項は道路整備で、資源ごみの搬入車路となる忠生579号線のほか忠生441号線、都道155号線の拡幅も、小田急多摩線小山田新駅の早期実現などを要望しているがほとんど実行されていない状況だ。この様な状況では、施設建設に対する地元の理解が得られない。2024年8月に両副市長と面会し、市長宛ての要望書を提出し「施設の建設に向けて理解いただくために必要な事項として重く受け止めている」という回答を受領したが、道路整備などに目に見える成果が出ないと、地元理解は今後も難しいと考える。上小山田地区としては、施設の建設に当たっては道路整備というのは非常に大事なことなので、今後、市内のほかの地域よりも優先して道路整備をして欲しい。この要望事項についてもっと組織横断的に動ける組織をつくるべきと考える。

また最近の説明会では要望事項の進捗状況は一切説明がないので、説明をお願いします。

さらに現在までの説明会について日程と内容を、一覧表にして資料で提出をお願いします。

- ・**事務局**：今の道路整備要望の意見は、市として重く受け止めている。これまでの説明会に関する資料は次回提示する。

○閉会の挨拶

古屋環境資源部循環型施設整備課長から挨拶を行った。

1 5 時 4 2 分 閉会